

東北大学

社会にインパクトある研究

第1回 シンポジウム

理念を共有する

「社会にインパクトある研究」の
30あるプロジェクトの理念を共有し、
プロジェクト間の相互理解を深め、連携を促し、
「持続可能で心豊かな社会」の創造を目指します。

2017
6月23日(金) 13:00 - 17:00

会場 青葉山 commons 1階 ラーニング commons (青葉山新キャンパス)

次第 挨拶および全体説明
各プロジェクトの発表・ディスカッション
総評 ほか

対象 プロジェクト関係者、教職員、学生、社会にインパクトある研究に関心のある方

参加方法 事前申し込みは不要です。当日会場にお越しください。(参加無料)

主催 社会にインパクトある研究推進室

お問い合わせ 東北大学 研究推進部 研究推進課 研究総務係
電話 022-217-4840
メール impact@grp.tohoku.ac.jp



地下鉄東西線 青葉山駅 南出口より徒歩約3分

東北大学は、2016年、現代社会の抱える諸問題を解決し、人類が融和的に共存できる心豊かな未来を創造するため、「社会にインパクトある研究」を立ち上げました。「社会にインパクトある研究拠点」では、解決すべき社会的課題からAからGの7つのグループテーマを抽出し、それぞれのテーマに合致する研究者を集結して30のプロジェクトを構築しました。これらのプロジェクトの推進を通じて、長期的かつ組織的に課題解決に取り組みます。

本シンポジウムでは30あるプロジェクトの理念を共有し、プロジェクト間の相互理解を深めることによって連携を促し、「心豊かな持続可能社会」の創造に貢献することを目指しています。

社会にインパクトある研究 プロジェクト一覧

| グループ名 | 番号・短縮名 | プロジェクト名 | プロジェクトリーダーおよび主担当者(敬称略) |
|-----------------------------|-----------|--|--|
| A. 持続可能 環境の実現 | A-0 環境価値学 | 新しい価値観に根差した持続可能な社会の実現 | 吉岡敏明(環境科学研究科) |
| | A-1 地球温暖化 | 地球温暖化の緩和と適応への貢献 | 早坂忠裕・須賀利雄(理学研究科)、吉岡敏明(環境科学研究科) |
| | A-2 自然共生 | 自然資本の利用による心豊かな社会の創造 | 中静透(生命科学研究科)、香坂玲・吉岡敏明(環境科学研究科) |
| | A-3 エネルギー | エネルギーの新しい価値観創造と展開 | 吉岡敏明・土屋範芳(環境科学研究科)、丸田薫(流体科学研究所)、折茂慎一(金属材料研究所) |
| | A-4 資源循環 | 資源が循環する高効率エネルギー社会の創造 | 杉本諭・長坂徹也・吉見享祐(工学研究科) |
| B. 健康長寿 社会の実現 | B-1 恒常性維持 | 自律的に心身恒常性維持を図る調和型健康社会の実現 | 永富良一・出江紳一(医工学研究科)、末永智一(環境科学研究科) |
| | B-2 個別化医療 | 人に優しい個別化医療の開発・普及による次世代医療構築と医療格差是正 | 八重樫伸生・石岡千加史(大学病院)、下川宏明(医学系研究科)、佐々木啓一(歯学研究科) |
| | B-3 認知症ゼロ | スマート・エイジング: 生涯健康で認知症ゼロの社会を目指して | 瀧靖之・川島隆太(加齢医学研究所) |
| | B-4 口から健康 | 口から発信する健康づくり | 佐々木啓一・高橋信博(歯学研究科)、駒井三千夫(農学研究科) |
| | B-5 人の医薬品 | 世界を主導する医薬品開発と人をつめた医薬品治療の実現 | 山口雅彦・根東義則・平澤典保(薬学研究科)、宮田敏男(医学系研究科) |
| C. 安全安心 の実現 | C-1 実践防災学 | 災害に強くしなやかな社会創造イニシアティブ ~俯瞰的で統括的な実践防災学~ | 今村文彦(災害科学国際研究所) |
| | C-2 インフラ | 暮らしを豊かにする創未来インフラの構築 ~「造る」から「活かす」、そして「生きる」へ~ | 久田真(工学研究科)、増田聡(経済学研究科) |
| | C-3 感染症超克 | 多角的視点に立脚した包括的な感染症リスク低減 | 押谷仁・賀来満夫(医学系研究科) |
| | C-4 放射線安全 | 放射線リスク理解の深化と放射性廃棄物の安全化 | 新堀雄一(工学研究科)、田村裕和(理学研究科) |
| D. 世界から 敬愛される 国づくり | D-1 創造日本学 | 創造する日本学: 世界が共感する「日本文化」の創造的価値の探究 | 小野尚之(国際文化研究科)、尾崎彰宏(文学研究科)、荒武賢一朗(東北アジア研究センター) |
| | D-2 近隣国理解 | 文理連携による東北アジアの新しい地域理解と課題の共有 | 高倉浩樹・岡洋樹(東北アジア研究センター) |
| | D-3 情報価値学 | 超巨大情報量時代に向けた情報の質と価値の科学技術 ~情報質インフォマティクスの創造~ | 村岡裕明・塩入諭・鈴木陽一(電気通信研究所)、行場次朗(文学研究科)、中尾光之(情報科学研究科) |
| | D-4 情報の未来 | 心豊かにする未来の情報科学 | 堀田龍也・窪俊一(情報科学研究科) |
| | D-5 ものづくり | 優れたものづくり日本を活かす戦略と体制 | 長平彰夫・長坂徹也(工学研究科)、柴田友厚(経済学研究科) |
| E. しなやかで 心豊かな 未来創造 | E-1 心の豊かさ | 心に豊かさを灯す社会の創造~科学・技術を適切に組み入れて~ | 直江清隆・原望(文学研究科) |
| | E-2 長寿社会 | 少子高齢社会から心豊かな長寿社会へ | 吉田浩・秋田次郎・照井伸彦(経済学研究科) |
| | E-3 東北が光を | 人々が光輝く地域社会の創造: 企業の事業革新による地域の再生 | 藤本雅彦・秋田次郎(経済学研究科) |
| | E-4 新生食産業 | 東北から始まる「いのち」を育む農林水産・食品産業の構築 | 牧野周・伊藤房雄・阿部敬悦(農学研究科) |
| F. 生命と宇宙が拓く 交感する未来へ | F-1 生命の奇跡 | 生命の奇跡のプロセスに学ぶイノベーション | 東谷篤志(生命科学研究科)、和田健彦(多元物質科学研究所)、大林茂(流体科学研究所)、加藤秀実(金属材料研究所) |
| | F-2 宇宙を拓く | 太陽系の激動を探り、宇宙に拡がる文明を拓く | 大林茂(流体科学研究所)、笠羽康正・小原隆博(理学研究科) |
| G. 社会の枢要 に資する大学 | G-0 大学の意義 | 百年将来を見据えた人類社会の枢要に資する大学の役割 | (未定)、佐藤弘夫(文学研究科) |
| | G-1 教育の本源 | 持続可能で心豊かな社会創造に気概をもつ人の育成 | 高橋満・笹田博通・工藤志文(教育学研究科)、佐藤弘夫(文学研究科)、田村裕和(理学研究科) |
| | G-2 科学の責任 | 心豊かな社会を支える、社会と人に責任ある科学技術の在り方・進め方 | 原望(文学研究科) |
| | G-3 人と法政治 | 人類社会の将来のための新たな理念の法学・政治学的定立 | 榊島博志(法学研究科) |
| | G-4 公正社会へ | グローバル化された市場経済での格差・諸課題への提言 | 佐藤嘉倫(文学研究科)、守健二(経済学研究科) |